

2011 年度第 6 回理事会(定例) 開催



●2011 年度第 6 回理事会(定例)について

2012 年 1 月 24 日(火)に ANA インターコンチネンタルホテル東京で開催された 2011 年度第 6 回理事会(定例)の概要をお知らせします。

<決議事項>

●第 3 期(2012 年度)JVA 運営基本方針について

以下の運営基本方針を中野会長が表明し、理事会において承認されました。

○運営基本方針

本会は、わが国におけるバレーボール界を統轄し代表する団体として、バレーボール競技の普及及び振興を図り、もって児童・青少年の健全な育成と国民の心身の健全な発達に寄与し、または豊かな人間性を涵養する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

近年のわが国におけるバレーボール界は、国際化、情報化、少子高齢化の進展などにより、急激な変革が生じており、また、世界に目を向けるとグローバル化、ボーダレス化が顕著であり、これまで以上にバレーボール先進国に対する世界的な期待が高まっている。

こうした中で、本年は5～6月に開催されるロンドンオリンピックアジア予選兼世界最終予選で男女のバレーボールとビーチバレーで出場権を獲得し、本大会でメダル獲得を目指す。同時に今期よりスタートさせる新中期的強化体制を推進し、バレーボール競技人口の底辺拡大による基盤強化を行い、わが国のバレーボール界統轄組織として広い視野でナショナルチームの強化、競技の普及・振興を行うことで、国際的にも国内的にも高いポジショニングを維持する。

また、今後さらに国際バレーボール連盟との緊密な連携を図り、世界のバレーボール先進国として各種事業を効果的に推進する。

●若年層競技人口拡大委員会の新設について

東京オリンピック以来、バレーボールは国民スポーツの中心として地位を築いてきましたが、近年のバレーボール人口の激減は憂慮する事態となっており、これまでの既存の委員会等による取り組みでは限界があります。そこで、この問題について JVA 組織全体として横断的・総合的に取り組むための第一歩として若年層競技人口拡大委員会の設置および委員の選任が行われました。

委員長 下山 隆志

副委員長 木村 憲治 副委員長 藤井 重機

副委員長 亀ヶ谷 純一 副委員長 緒方 良 副委員長 工藤 憲

(小学生グループ)

リーダー 工藤 憲

委員 丸山 由美 委員 吉原 知子 委員 大山 加奈

委員 大内 賢司 委員 森 和夫 委員 勝見 俊也

(中学生グループ)

リーダー 緒方 良

委員 橋口 陽一 委員 相澤 修 委員 三上 和男 委員 鈴木 裕史

委員 神山 信次郎 委員 春田 政幸 委員 内山 晃

(アドバイザー)

岩満 一臣 森田 淳悟 豊原 祥徳 竹内 浩 小野 元之 三屋 裕子
高橋 治憲 小田 勝美 遠藤 俊郎 岩本 洋 高梨 泰彦 伊藤 孝浩

なお、当面の課題として、小学生のバレーボーラー10万人・中学生のバレーボーラー25万人実現を具体的な数値目標に掲げ、活動してまいります。

●チーム及び選手登録規程の改定について

公益法人への移行に伴い、諸規程について検討および改定を進めておりますが、その一環として、チーム及び選手登録規程について、文言の修正等を行い改定することとなりました。なお、規程の全文など詳細については、2012年度登録受付に合わせ、本会ホームページに掲載する予定です。

●役員候補者推薦規程の制定について

現理事選任の際は、旧財団法人から新公益財団法人への移行期にあったため、旧法人理事会決議事項(2010年12月17日開催理事会)及び新法人理事会決議事項(2011年2月15日開催理事会)に基づき、選任を行いました。本年6月22日開催の定時評議員会では監事の改選が行われる予定ですが、これに対応するため、透明性を重視した円滑な候補者推薦の実施を目的として、役員(理事・監事)候補者推薦規程が制定されました。

規程案は前記決議事項を各条文に反映させたため、内容に大きな変更はありませんが、役員候補者推薦委員会の構成についてのみ、下記のように変更することとなりました。下記変更は、理事会決議事項の際は法人移行期であったため、新旧両法人の評議員と理事を考慮しておりましたが、現在ではその前提が解消し、また、より客観性・透明性を高める事を目的としたものです。

(決議事項) 評議員2名、代表理事1名、理事2名、監事1名、事務局員1名、合計7名

↓

(規程) 評議員1名、代表理事1名、理事1名、監事1名、事務局員1名及び評議員、代表理事、理事、監事、事務局員以外の属性である委員2名、合計7名

なお、規程の全文を別紙添付しておりますのでご参照ください。

●貝塚ドリームスの今後について

貝塚ドリームスの活動について、2013年3月末をもって終了することとなりました。

<報告事項>

●第3四半期職務執行報告について

中野会長ほか8名の業務執行理事から第3四半期における職務執行報告が行われました。ワールドカップ2011、天皇杯・皇后杯全日本選手権大会の開催、国民体育大会におけるビーチバレー正式種目化への取り組み、JVAオフィシャルスポンサーへのプロモート作業、ワールドカップ2015・2019、ワールドグランドチャンピオンズカップ2013、2012年開催のワールドグランプリ・ワールドリーグ等についての調整、諸規程の改定作業ほかについて、担当業務執行理事から報告が行われました。

●公益法人設立記念日(2月1日)について

2011年2月1日、JVAは内閣総理大臣よりスポーツ団体として初めて公益財団法人に認定されました。これを受け、毎年2月1日を公益法人設立記念日とし、事務局休業日とする報告が行われました。この日を定めた目的は、日本スポーツ界のリーダー的存在として、“新しい公共”であるJVAの役職員一同が、“公益法人のあるべき姿”や“JVAの社会的使命”を真摯に受けとめ、事業遂行に向け毎年、気持ちを新たにす一日とするためです。

●JVAメンバー登録証の交付方法変更について

現時点では、初回登録時にプラスチック製の登録証が交付されておりますが、これと併行して、PDFにて各チームや個人で登録証をプリントアウトすることも可能です。プラスチック製登録証の場合、初回登録時に交付したものが、登録証を保有している限り登録状態が続いているという誤解が生じました。PDF登録証ではこの誤解を避けることが出来、また、登録証を紛失しても再発行が容易となり、写真も表示できるなどのメリットがあります。このため、2012年度登録受付に向け、PDF登録証に一本化していく予定です。

●2011 年度第 3 回功労者Ⅱ表彰について

表彰委員会で検討し、以下の方々の表彰を決定いたしました。

鈴木 清和(宮城県バレーボール協会監事) 高山 則夫(福井県バレーボール協会顧問)

●倫理に関するガイドラインについて

JVA の倫理規程を補完するため、指導者によるセクハラ・暴力ほか倫理に関するガイドラインの作成を行うこととなりました。

■会務に関するお知らせ

●ルールブック販売方法の変更について

2012 年度版ルールブックにつきましては現在製作中ですが、2012 年度版から申込先ほか販売方法が大幅に変更となります。加盟団体の皆様には、その詳細を後日、文書でご案内いたします。また、ホームページにも掲載してご案内いたします。

販売方法の変更につきまして、ご理解ご協力方よろしくお願い申し上げます。

●“2012JVA 感謝の夕べ”開催

JVA 感謝の夕べが 1 月 24 日(火)に ANA インターコンチネンタルホテル東京で開催されました。このパーティーは 1990 年当初から毎年開催されているもので、日頃ご支援を頂戴している皆様にお集まりいただき、JVA が皆様に感謝の気持ちを表す目的で開催されています。

当日はスポーツ用品・用具企業、メディア各社、広告代理店、旅行代理店ほか各企業のトップ、担当者約 180 名余りの方々にご出席いただきました。

パーティー冒頭には、本年がオリンピックイヤーでもあることから、眞鍋、植田両全日本監督が会場を埋めた大勢のお客様の前で、ロンドンオリンピック世界最終予選兼アジア予選に臨む決意を表明しました。あわせて朝日健太郎、浦田聖子ほか男女ビーチバレー選手もオリンピック予選での出場権獲得に向け決意を新たにしました。



発行・公益財団法人日本バレーボール協会
電話・03-5786-2100 FAX・03-5786-2109

発行人・業務執行理事事務局長 岩満 一臣
Email・generalaffairs@jva.or.jp